



スカウト 浄土

The Scout Jodo

仏教行事とスカウト

—花まつり特集—



花まつり

誕生仏のお釈迦様のお姿から
正しく立派に生かさせて頂くことを学ぶ

浄土宗スカウト連合協議会

理事長 溪 逸郎



お釈迦様のお姿と申しますと、先ず頭に浮ぶのは、四月八日の花祭りのかわいい誕生仏のお姿であります。天と地を指さしてすつくとお立ちになっていらつしやる、あのりりしいお姿に甘茶をおかけした花祭りの想い出をおもちのかたは多い事でございます。ところで、生まれながら立ち上がって歩き出したり、物を言ったりということは実際にはありえない事でございます。ほかにも、例えば大地がこちよく七種に振動したとか、空か

ら甘い雨が降ったとか、様々の奇瑞が記されています。これらの奇蹟は、お釈迦様が此の世にお生まれになったということが



どんなに尊い事であったかという事を現わしているのではありません。又同時にお釈迦様が後の世のわたくしたちに、どのような尊いみおしえを残して下さったかという事をあらわしているのでございます。

五蘊とは人間の身体の事でありまして、ねむたい食べたいと、自分の身体のお守りだけに明け暮れる様なひぐらし。最後の天上道とは、何もしないで、ただぶらぶらと日を過ごすような、そのような生きかた、というこ

とで、これらはみんな間違った生きかた迷いの世界である。迷いを踏みこえて正しい人生を歩みなさい。と正しい仏道をお教

申しますのは、地獄・餓鬼・畜生・修羅・五蘊・天上という六つの迷いの道を踏み越えて七つ

の正しい道を歩みなさい。地獄道とは、ただ苦しむばかりという生きかた。餓鬼道とは、欲望のとりことなって生きて行く姿、畜生道とは、何かに引き回されて、仕方なしに生きてゆくような生きかたである。修羅道とは、いさかい争いに明け暮れる、そういう生きかた。五蘊道、

え下さったということをして現しているのでございます。

「天上天下唯我独尊」この命は天地より賜った尊い命であると、我が命の尊さ、一人一人の人生の尊さを自覚し、六道を現わしているのが、あの誕生仏のお姿でございます。お釈迦様は、今もわたくしたちのかたわらにお立ちになって、人として、しっかりと正しく立派に生きなさい、人生の一步一步を、一日

一日を尊く美しく生かさせて頂こうと呼びかけて下さるのであると私は思うのでございます。

八十年の生涯をインドの大地を踏んで、ひたすらにお歩きになつたお釈迦様、わたくしたちは、その尊いみあとを慕い、その尊いみおしえを仰ぎつつ、それぞれの人生を一生懸命に歩ませて頂きたいとおもいます。

「たちあがり、そして歩くすがた」誕生仏のお釈迦様のお姿から、私たちは正しく立派に生かさせて頂くことを学ばせて頂くのでございます。

今じいの団では… 各地のスカウトだより

〜仏教行事とスカウト〜

その①

ベンチャースカウト手作りの「花祭り門前演芸会」
ボーイスカウト水俣第一団
カブスカウト隊長濱田智海

四月七日、団本部・西生院本堂を会場に恒例の「花祭り門前演芸会」がスカウト、保護者、お稽家の皆さん方を集めて開かれました。昨年からはベンチャースカウト自ら企画・運営をするもので、約一カ月前から各隊及び班・組ごとに出し物を決め練習を積み重ねて演芸会に出演します。当日はベンチャー、リーダー、保護者が会場準備を行い、焼き鳥、わた菓子、飲み物など、丁度、花見時期でありますので、保護者が行いますこれらの出店も境内に出ます。また、出し物も寸劇、アカペラコーラス、相撲甚句、手品、ゲーム、パネルシアター、歌など多種多彩にわたりスカウトやリーダー、地域の方々との熱演に見物の方々から笑いが絶えません。それに演芸会の最初には全員でお釈迦様のお誕生をお祝いする儀式を行い、

厳かな中にも楽しい「花祭り」が繰り広げられます。これからも地域社会に開かれた寺であり、地域社会に明るい話題をボーイスカウトとしても提供していきたいと考えております。

「手を合わす心を育む
「花まつり」

四月七日の夜、「花祭り演芸会」を開催しましたが、演芸会の前に参加者全員でお釈迦様の誕生をお祝いする式典を行いました。本堂内正面に花見堂を設け、全員が手を合わせてお釈迦



式典

様に甘茶をかけお参りをしました。

手を合わすことの少ない現代社会ですが、お釈迦様の誕生をお祝いする「花祭り」ぐらいいは、人の道を説かれた教えに親しみ、心の教育（情操教育）を感じるのも良いのではないのでしょうか。子どもたちのしっかり学んでいる姿に、もっと親自身も参加していた良かったなあと、感じました。

「楽しかった
「花祭り演芸会」

四月七日、花祭りの式典終了後、演芸会が開かれ楽しい時間が持たれました。前から各隊で練習しており、ビーバー隊からは、刀を持ち袴をはいての剣



見学中のスカウト



ビーバーの剣舞のダンス

舞ダンスでスカウトたちも大張り切りで舞台せましと踊っていました。また、カブ隊からは寸劇、パネルシアター、踊りなどが出たり、ボーイ隊からは幕間のゲーム・クイズ、志水ビーバー隊長からは手品が披露され、観客も目をこらして見入っていました。そして、最後に今回の演芸会を企画準備したベンチャー隊より、笑点TMが出され笑い笑いの演芸会が幕となりました。忙しい中、企画準備をしてくれたベンチャー隊のスカウト諸君、お疲れ様でした。この姿を後輩たちも伝えていってほしいものと思います。また、見学いただいた保護者の皆さんも普段見れない子どもさんの姿が見られたことと思います。

『仏教行事とスカウト』

ガールスカウト宮城第十九回
レンジャー 藤井賀恵

私の団では毎年さまざまな行事を行っています。その中でも、四月に行われる花まつりはとても大切な行事です。この行事を楽しみにしているスカウトも多いと思います。

花まつりでは、ボーイスカウトやガールスカウト、寺子屋の子供たちが集まります。

おつとめやお釈迦様にあま茶をかけ、お花をお供えします。また、お釈迦様についてのお話を聞きます。

この花まつりという行事は、お釈迦様の誕生日をお祝いするだけではなく、お釈迦様について知るいい機会だと思います。私はガールスカウトを小学一年生からやっていますが、毎年毎年とてもいいお話を聞けて、光栄です。お釈迦様に興味があっていくる行事だと思います。

日頃から、私たちを見守ってくださるお釈迦様に近づける行事でもあります。この花まつり

という行事に、多くのスカウトが参加してほしいと思います。



【甘露の雨】甘茶を誕生仏に!

『仏教行事とスカウト』

ボーイスカウト大阪第七十一回

土田 邦樹

大長寺 西田亨心住職

「正僧正」叙任「緋衣允許」奉告法要並びにお祝いの会奉任について。

この度大長寺西田亨心住職（ボーイスカウト大阪第七十一回育成会長）が、浄土宗の最高位「正僧正」「緋衣允許」の榮に浴されました。

スカウト一同この事は大長寺を本部としている関係者も大変喜ばしく存じています。

そこで、平成十三年六月三日(日)午後より「正僧正」「叙任緋衣允許」奉告法要が行われることになり、団委員、スカウトが揃って奉仕する事になりました。後日改めて関係者一同が、御住職御夫妻をお招きして、ささやかな小宴を予定しています。

今年の夏キャンプでは、離島生活キャンプを予定し、実施すべく検討中です。

友団のますますの御活躍をお祈りします。

合掌

『仏教行事とスカウト』

ボーイスカウト東京港十五回

回委員 伊藤 彰哲

東京港十五回の仏教行事は「御忌奉仕」と「成道会」及び「除夜の鐘篝火奉仕」です。

「御忌」というのは、宗祖法然上人の命日のことを言い、増上寺では四月二日から七日まで御忌法要が営まれます。その時、

日中唱導師が山門から本堂まで練供養を行い、その行列の沿道にスカウト達は整列し、行列を迎える奉仕を行います。

「成道会」は、お釈迦様が悟りを開かれたことを讃える法会のことを指し、お悟りを開かれた十二月八日の近くの日曜日に行っています。会は二部構成からなり、第一部は「おつとめ」、第二部は「お楽しみ会」となっています。

「除夜の鐘篝火奉仕」は十二月三十一日に行われる増上寺の「除夜の鐘」に合わせて行う行事です。参道に篝火を並べそれぞれを交代で警護する奉仕活動です。制服姿で奉仕するスカウトと篝火は年末から年頭を飾る増上寺の風物詩となっています。



「おてつき運動に

参加するスカウト」
ボーイスカウト大阪第二二四団

毎年長期キャンプに行く前にお手つき運動に参加するスカウト達、今年もいつから行けるのかと計画を立てて早く阿弥陀様に逢える様にと楽しみに待っています。

去年はCSからBSベンチャーまで全員で立山へ行ったのですが今年には各部門別れての行動です。

長期キャンプが終ると大阪では各地で地藏さんのお祭りです。当団では八月二十三日から地藏盆が始まります。ピーパー・カブを中心にボーイベンチャーが応援してお祭りに参加します。たくさんの提灯に灯を入れ盆踊りや夜店大会を催すのです。小さいスカウト達はゆかたを着て楽しそうです。

まず各自が元気である事、又どんな時にも感謝の気持ちをお忘れな様にと頑張っています。



ペン全国リレー

浄土宗スカウト連合協議会

監事 浜野善祐

「ビッグバンで
宇宙ができた」

お金を払って宇宙旅行にでかける時代になりました。そこで宇宙の果てってどうなっているのか考えてみましょう。

まず宇宙ですが、西洋では神様が「宇宙や人をつくり、人の為に食物として牛や豚も創られた」と言うのです。しかし、昔むかしのインドでは、ブラフマンと言う神様が爆発して全ての物の基が出来たと考えられ、人も石や動植物も基は一つの神様のかげらだといふのです。ですから万物平等で、神や人と動物の差別はありません。

仏教ではまず混沌（こんとん）というドロドロしたものがあって時（タイムリング）と機（チャンス）を得て飛び散って出来たと仮

設されています。無明（むみやう）（真暗）であったものが行（ぎやう）によって智慧（ちゐ）（情報）を得て爆発したと言います。どうですか？

物理より難しくなりましたね。人も動物もお互いになかよく命を大切にしようとお釈迦様は教えています。

宇宙を望遠鏡で観察すると、遠くの星ほど早く遠ざかる、言い換えれば宇宙は膨張しているのです。逆に考えれば百五十億年前は一点であったはずで「ビッグバン」という大爆発であった事になり、混沌とよくにています。

宇宙のそとは何も無いんです。物の始まりなのだからそのそとは何も無い。空（そら）と言うことになりました。色即是空の空です。空を乗り越えて浄土があります。宇宙の大生命が浄土をつくったのです。混沌

は無明のことです。

物質と心を比べると物が無くても心は広げて想像する事が出来ます。物理の世界より大きいのです。現在インドではアメリカに次いでITが盛んだそうですがお釈迦様の説かれたことも、非常に理論的で難しい点が多いのです。ちょっと判ったように見えるけれど新しい疑問が湧いてきます。

法然様の「愚痴に還る」と言うお言葉と、光はこちらから働き掛けなくても、波動であらうが粒子であらうが明るく照らしてくれると言う事、生きるだけでなく生かされる事、心と物質の世界、解かりますか？ 佛理学って？



今うちの国では…
各地のスカウト
だより
その②

『二〇〇周年に向かつての折り返し点』
日本ボーイスカウト連連第一団

一九五〇年（昭和二十五年）十二月発足してから五〇周年が過ぎ昨年十一月十八日大勢のスカウト仲間の祝福を受けて盛大に記念式典を開催することのできましたことに深く感謝申し上げます。丁度、今年は一〇〇周年に向かつての折り返し点に差し掛かりました。

現在までに培ってきた貴重な体験を基にスカウティングの原点を確認しながら「楽しいスカウト活動」…「エンジョイ スカウティング」をテーマとして一層頑張つて参りますので今後とも格別の御指導を賜りますようお願い申し上げます。なお、本年は八月三日から八月六日までの三泊四日間マキノ高原キャンプ場で開催される滋賀連盟の第七回県キャンポリーに参加するなど、楽しいプログラムを展開して参りたく計画しております。

◆13NJ2002 舞洲大阪 頑張ろう！

第44回浄土宗スカウト仏教章研修会 平成13年3月27日～29日於百万遍知恩寺

研修会変更後第二回目の仏教章研修会が会場を西にうつして京都大本山知恩寺を会場に平成十三年三月二十七日から二十九日までの三日間四十名の参加者で開催されました参加者の感想文から研修会の様子をお受けとり下さい。充実した研修でした。



帰敬式の感想

忍辱班・榎原第八回
中谷 祐也

私は、最初本堂に入ってから、音の神秘さと雰囲気感動しま

した。それから、静かに並んで見上げると、法然上人様がいつも以上にかがやいていらっしやたのが心に残っております。お光をいただいているから、歩いてお光を供えさせていただく瞬間、法然上人様のお顔を真近で初めて拝見させていただいた時、私はそのお姿を心にとめ、また並びなおして歌を歌っている間、お約束をさせていただきました。お約束といっても、お願いのような感じでしたが……。

それからの法然上人様は、私の方へ今にも動き出しそう、私が今にも倒れそう、感動していたんでしょうか、緊張していたのでしょうか、私はふるえていました。

とにかく、私には、神秘的で、仏の存在を信じずにはいられない状態の自分がそこにいたような気がします。



『帰敬式について』

持戒班・岸和田第五回
義本 悠輔

今日三月二十八日、第四十四回帰敬式が終わった。帰敬式はとても静かで、雰囲気は学校の卒業式に似ていた。仏教章研修会の総まとめのような気がして、ドキドキした。そして帰敬式を終えた今の気持ちは、なぜかうれしさがする。このうれしさがどこから来るものかはわからない。

そして、私自身、仏教章研修会に来る前と今では、気持ちの奥底で何か変化があったように思える。仏教についても以前より知ることができた。それは自分自身ともうれしい。私の家の宗派は浄土宗なのだが、私は全然浄土宗のことについて知らなかったからだ。しかし、まだ宗教の全てを知ったわけではない。むしろ一生かかっても全てを知ることにはできないかもしれない。しかし、私はできる限り知識を深めたいと思う。そして、浄土宗スカウトとして、信仰を深めていきたいと思う。

栄誉を讃えましょう

浄土宗仏教章授与スカウト(平成十二年四月〜平成十三年一月)

匠	発 送 日	氏 名	寺 院 名	教 導 職
福 岡	21	12. 4.18	池 内 伸太郎	成 道 寺 佐 藤 隆 昭
福 岡	21	12. 4.18	西 嶋 大 輔	成 道 寺 佐 藤 隆 昭
水 俣	1	12. 6.20	山 近 朱	西 生 院 浜 田 義 靖
水 俣	1	12. 6.20	松 本 かおり	西 生 院 浜 田 義 靖
練 馬	14	12. 6.20	野々山 順 子	清 光 寺 岡 本 圭 示
有 田	1	12. 8.25	相 原 充	善 福 院 橋 口 光 彰
岐 阜	6	12. 8.25	浅 井 猛	法 隆 寺・阿 弥 陀 寺 颯 田 常 彦
木更津	2	12. 8.30	川 嶋 亮	選 擇 寺 山 本 恵 司
木更津	2	12. 8.30	村 澤 雄 一	選 擇 寺 山 本 恵 司
木更津	2	12. 8.30	檀 谷 淳	選 擇 寺 山 本 恵 司
木更津	2	12. 8.30	佐 藤 利 彦	選 擇 寺 山 本 恵 司
港	15	12. 9.21	並 木 優 和	清 光 寺 岡 本 圭 示
港	15	12. 9.21	西 村 弘 行	清 光 寺 岡 本 圭 示
富 里	1	12. 9.21	岡 村 恒 紀	清 光 寺 岡 本 圭 示
北 見	2	12.11.15	加 藤 隆 昌	明 照 寺 加 藤 芳 明
北 見	2	12.11.15	嘉 村 周 悟	明 照 寺 加 藤 芳 明
北 見	2	12.11.15	加 藤 芳 樹	明 照 寺 加 藤 芳 明
世田谷	15	12.11.15	横 溝 大 希	清 光 寺 岡 本 圭 示
世田谷	15	12.11.15	蕪 沢 祥 雅	清 光 寺 岡 本 圭 示
福 岡	21	12.11.15	檀 木 将 太	西 生 院 浜 田 義 靖
長 崎	10	12.11.15	岡 本 憲 洋	地 福 院 深 町 光 祥
松 山	37	12.11.15	上 本 聖	不 論 院 村 岡 正 道
松 山	33	12.11.15	宮 浦 聡 一 郎	不 論 院 村 岡 正 道
松 山	33	12.11.15	佐々木 豪	不 論 院 村 岡 正 道
温 泉	1	12.11.15	中 野 力	不 論 院 村 岡 正 道
横 浜	118	13. 1.22	深 沢 祥 一 朗	正 應 寺 石 川 到 覚
横 浜	118	13. 1.22	宮 内 愛 隆	正 應 寺 石 川 到 覚
文 京	5	13. 1.15	小 林 孝 圭	清 光 寺 岡 本 圭 示
文 京	5	13. 1.15	村 山 哲 晴	清 光 寺 岡 本 圭 示

第五回ベンチャースカウト大会

仏教礼拝浄土宗担当により厳修される

第五回ベンチャースカウト大会が平成十二年七月二十九日～八月四日まで大分県久住高原で開催され、その宗教儀礼が八月一日開催され、仏教徒は中央アリーナに二千人程が参集し浄土宗が担当し厳修されました。

この大会をささえてくれたのは水俣第一団の皆様でした。特に司会を担当してくれたベンチャー隊の松本香さんと山近あけみさんのお二人は高校放送部所属だそうで素晴らしい司会で会場の皆さんを驚かせました。



式次第

1. 開式のごとば
2. 導師入場
導師 浄土宗社会局長
大島良彦
3. 献灯・献香・献華
(いまささぐ)
4. 導師焼香
5. 合掌礼拝

第5回 ベンチャースカウト大会 宗教儀礼



平成12年8月1日
於 大分県 久住高原

スカウト浄土(第二十二号)

発行/平成十三年四月二十日

京都市東区林下町

浄土宗宗務庁社会局内

浄土宗スカウト連合協議会

編集者/東海林 良 雲

印刷/利商印刷 株式会社